

平成29年宇治田原町新名神高速道路建設に関する特別委員会

平成29年3月10日

午後1時30分開議

議事日程

- 日程第1 行政報告
新名神高速道路建設事業について
- 日程第2 その他

1. 出席委員

委員長	3番	垣内秋弘	委員
副委員長	11番	谷口整	委員
	1番	谷口重和	委員
	2番	松本健治	委員
	4番	馬場哉	委員
	5番	浅田晃弘	委員
	6番	原田周一	委員
	7番	山本精	委員
	8番	藤本英樹	委員
	9番	山内実貴子	委員
	10番	今西久美子	委員
	12番	田中修	委員

1. 欠席委員 なし

1. 宇治田原町議会委員会条例第18条の規定により会議事件の説明のため出席を求めるものは次のとおりである。

町	長	西谷信夫	君
副町	長	田中雅和	君
教	育	増田千秋	君
総	務	久野村観光	君
健	康	光嶋隆	君
福	祉		
部	長		

建設事業部長	野田泰生君
教育部長	黒川剛君
総務課長	清水清君
企画財政課長	奥谷明君
建設環境課長	垣内清文君
プロジェクト推進課長	山下仁司君
プロジェクト推進課 課長補佐	谷出智君
上下水道課長	下岡浩喜君

1. 職務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

事務局長	村山和弘君
庶務係長	岡崎貴子君

開 会 午後1時30分

○委員長（垣内秋弘） 皆さん、こんにちは。

補正予算特別委員会に引き続きましてご苦勞さまでございます。

新名神高速道路建設に関する特別委員会は、12月20日に全議員12名で設置いたしました。その日は設置及び正副委員長の選任にとどめておりましたので、実質的には本日が設置後、初の開催となるわけでございます。この間における事業進捗につきまして、町当局より説明を願うものであります。

資料につきましては、既に配付いたしておりまして、ご確認いただいているものとして進めさせていただきます。

それでは、ここで町長から、ご挨拶をお願いいたします。町長。

○町長（西谷信夫） 先ほどは、補正予算特別委員会ということで慎重なご審議を賜りまして、まことにありがとうございました。また、ご提案申し上げました平成28年度宇治田原町一般会計補正予算（第4号）及び各特別会計の補正予算5議案につきまして、全てにつきまして可決すべきものと決していただきまして、大変ありがとうございます。お疲れのところとは存じますが、新名神高速道路建設に関する特別委員会を開催していただきまして、まことにありがとうございます。

さて、新名神高速道路事業につきましては、昨年の4月及び5月に神戸市、箕面市での相次ぐ事故の関係で、本町内の工事につきましても約2カ月間の工事中断があったわけでございます。また、本年度末の供用を予定されておりましたけれども、城陽八幡間につきまして、年度中の開通は困難な状況であると聞いておるところでございます。本町では現在、3つの工事が施工中でございますが、安全には十分注意しながら施工していただきますように繰り返しお願いをしておるところでございます。

これから担当課のほうから、本町における事業の進捗状況についてご説明をさせていただきますので、どうぞよろしくご説明申し上げます。以上でございます。

○委員長（垣内秋弘） ありがとうございます。

出席委員数は12名でございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから新名神高速道路建設に関する特別委員会を開催いたします。

会議はお手元に配付いたしております会議日程及び事前配付しております資料により進めさせていただきます。

これより議事に入ります。

日程第1、行政報告について。

新名神高速道路建設事業の事業進捗状況について、町当局より説明を願います。谷出プロジェクト推進課課長補佐。

○プロジェクト推進課課長補佐（谷出 智） 本日は特別委員会をご開催いただきまして、まことにありがとうございます。

先ほど委員長からもございましたが、現在までの高速道路事業の進捗についてご報告させていただきたいと存じます。

大変申しわけございませんが、議員各位に事前にお配りしております資料の1枚目の数字に誤りがございましたので、委員長の許しを得まして修正したものをお席のほうにお配りしております。そちらのほうでご説明申し上げますので、よろしく願いいたします。大変失礼いたしました。

それでは、1、事業進捗状況についての(1)用地取得の状況についてでございます。

郷之口地区が約44%で、大型物件を除きますと約98%となっております。岩山地区が約89%でございます。禅定寺地区が約89%で、町全体といたしましては約65%となっております。

次に、(2)工事契約状況及び進捗率についてでございます。

こちらにつきましては、まず各工事区の場所をご確認していただくために、資料の2枚目、A3の宇治田原町域の航空写真を使用しております箇所図のほうをごらんいただきたいと存じます。

図面右側の黄色で図示している箇所が、岩山地域と禅定寺地域の工事区となっております。上段を岩山工事、下段のほうを宇治田原第一高架橋（下部工）工事と表記、命名しております。また、左側に図示している箇所が郷之口地域の工事区となっており、こちらは宇治田原第二高架橋（下部工）工事と表記、名称となっております。また、資料の3枚目は、岩山工事及び第一高架橋（下部工）工事付近平面図、そして資料の4枚目は、宇治田原第二高架橋（下部工）工事平面図でございます。あわせてごらんいただければと存じます。

1枚目の資料に戻っていただきまして、岩山工事につきましてでございます。株式会社第一土木が受注者で、工事概要は本線土工、函渠工、工事用仮橋工などで、進捗率が約58.1%でございます。

続きまして、宇治田原第二高架橋（下部工）工事（田原川以西）についてでございます。村本建設株式会社が受注者で、工事概要は橋台、橋脚の設置でございます。進捗率

は4%でございます。

続きまして、宇治田原第一高架橋（下部工）工事につきまして、株式会社ノバックが受注者で、工事概要としましては、同じく橋台、橋脚の設置で、進捗率は3%でございます。

次に、(3)今後の発注予定工事についてでございますが、宇治田原第二高架橋東（下部工）工事（田原川以東）の工事と、宇治田原トンネル（上り線）工事が予定されているところでございます。

続きまして、2のその他でございますが、資料の3枚目、岩山工事の平面図をごらんいただけますでしょうか。

図面左端にあります、左端、南北に走っております府道宇治田原大石東線をまたぐ形で工事用仮橋の施工が予定されており、この施工につきまして3月31日から4月14日まで、雨天等で延期した場合は予備日として4月17から21日の間で行う旨、先日、西日本高速より連絡があったところでございます。本工事につきましては、夜間の時間帯に一時通行止めを伴う片側交互通行となりますことから、十分事前周知を図るとともに、今週末、岩山地区と禅定寺地区で工事説明会を開催して、地元のお声を聞き、ご理解を得た上で工事を実施することとされておりますので、あわせてご報告させていただきます。以上でございます。

○委員長（垣内秋弘） 説明が終わりました。

何かございませんか。今西委員。

○委員（今西久美子） まず、事業の進捗状況ということで、用地取得の状況を書いています。特に大型物件がある郷之口地区におきましては、進捗率が44%。だから、半分ぐらいが大型物件となると思うんですが、これのどういう進捗なのか、大型物件についてどうなのか、ちょっとその辺をお聞きしたいと思います。

○委員長（垣内秋弘） 山下課長。

○プロジェクト推進課長（山下仁司） 失礼をいたします。

ただいまのご質問でございますけれども、大型物件が率直に言いまして進んでない状況はどういうことだというふうに捉えさせていただいておりますけれども、当然なかなか土地だけじゃなしに、現在、操業されてのということになってございますので、補償関係の協議がまだ調っていないというようなことでございまして、早急に工場のほうもずっと続けていただいておりますので、よい方向に進んでいくんだろうというふうには思っているところでございます。以上でございます。

○委員長（垣内秋弘） 今西委員。

○委員（今西久美子） 町の事業ではないのであれなんですけれども、見通しはどのよう
に持ったはるんですかね。

○委員長（垣内秋弘） 山下課長。

○プロジェクト推進課長（山下仁司） 当然、平成35年供用ということでございますので、工事の進捗からいっても早期に着手していく必要があるというようなことも想定されますし、あと、補償ということになりますので、実際には操業をとめるということとはできませんから、当然、道路構築の際には新たな場所で操業いただけるような状態であるというようなことになってくるかというふうに思いますので、時間的には相当押し迫ってきているというふうに認識はさせていただいているところでございます。

○委員長（垣内秋弘） 今西委員。

○委員（今西久美子） わかりました。大型ということで、それは時間がかかるというのは、まあまあ理解できるとは思います。

それと、宇治田原第二高架橋のところの下部工についてですが、郷之口ですけれども、下部工の工事をするに当たり、橋脚の土台をコンクリート打つのに10mぐらいずっと掘り下げてはるんですよね。そういう工事が行われておりました。掘り下げるときに、川に近いところでいうと、かなり地下水が出ていまして、土を掘りながら出てきた地下水を田原川に流すという際に、相当汚れた泥水が流れておりました。私は何回も役場にお問い合わせをして、一旦くみ上げをとめてもらったりもしたんですけれども、それでも2回、3回、同じことが繰り返されました。ヤシガラマット等で対策もしていただいたようですけれども、ちょっと間尺に合わないような状況でした。橋脚がまだこれからこの地域は10本つくと、10本でしたかね、ということでしたので、川から遠いところはそんなに水も出ないかと思うんですけれども、ちょっとその辺の指導をきっちりやっていただきたいなということと、あと、田原川がかなり底に土砂泥がたまっているんじゃないかなというふうに思うんですが、その辺のしゅんせつなり、泥を取り除くことについてもネクスコにはお願いしたいと思うんですが、その辺の指導もきちんとやっていただけますでしょうか。

○委員長（垣内秋弘） 山下課長。

○プロジェクト推進課長（山下仁司） ただいま議員からご指摘の点につきましては、ネクスコ自身も自覚といいますか認識をされているところやったというふうに思います。今、委員さんのほうからもお話ありましたけれども、その間、対策を全くしないという

ようなことで工事を進められてこられたわけではなく、対策をしてもなかなか難しかったと。最終、ちょっと日にちまでは覚えていませんけれども、2月に工事を一旦とめて、きちんと処理ができるような形になってから再開をしますよというようなことで、今、ネクスコさんの的にも認識をいただき、工事を進めていこうという形、また当然、宇治田原の住民の方々にご迷惑をかけるということのないように、またあわせまして水利権をお持ちの漁業さん等々の関係団体ともお話をされていまして、今後は事業を進めていかれると。私どもも確かに現状も確認をさせていただき、何とかストップをするときにはストップをしていただきたいというようなことも指導のほうもしてきたというようなつもりではございますので、今後も引き続きそういう態度では進めていかせていただきたいというようなことでございますので、ご理解をお願いしたいと思います。

すみません。しゅんせつにつきましても、こちらのほう、直接私どものほうということではなく、管理のほうが京都府さんのほうにもなりますので、京都府とも協議をしつつ、必要な場合には対応いただくような形でお願いをしていきたいというふうに考えます。

○委員長（垣内秋弘） ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（垣内秋弘） ないようでございますので、日程第2、その他につきまして何かございませんか。特にないようですか。谷口副委員長。

○副委員長（谷口 整） またちょっとあるべき論を聞きたいと思うんですけれども、名神の特別委員会ですよ、これね。教育委員会とはどんな関係があるんですか。教育長がなぜ出てはるんですかという、なぜという聞き方もおかしいんですけれども、なぜなんですか。

○委員長（垣内秋弘） 山下課長。

○プロジェクト推進課長（山下仁司） 申しわけないです。もともと新名神の話、事業協議なりを発していただく際に、やはり通学路等に影響がするというようなこともございまして、当時はそういった形での入りをしていただいていたというようなことでございます。

○委員長（垣内秋弘） 副委員長。

○副委員長（谷口 整） 確かに通学路というと、かもしれんが、ただ本来、関係課だけでいいと思うんですよ。ましてこの年度末の忙しいときに、たくさんの幹部の方、出ていただいて、出ていただくのは議会としていいんかしりませんが、本来こんなこ

とに時間をとられるよりも本来業務でやってもらうべきなん違うかなど。特に教育部長なんか、小中一貫の今、結論出さんなん大事な時期に、こんな、こんな言うたらいけませんけれども、この場に出ているよりも、そっちのほうを一生懸命やってもらうべきやというふうに思ったんで、ちょっとなぜ来られるのかなという素朴な疑問で聞いているんですが、そこらもうちょっと整理してもうたらどうなんですかね。必要な幹部の方が出られればいいと思うんですけども、私はまたそれは別の場で言うなり相談させてもりますけれども、意見として申し上げておきます。

○委員長（垣内秋弘） 町長。

○町長（西谷信夫） おっしゃることはよく理解させていただきますし、ちょっと協議させてもろうて、また議会のほうにご報告させてもらいたいというふうに思います。よろしくをお願いします。すみません。

○委員長（垣内秋弘） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（垣内秋弘） 特にないようでございますので、これで新名神高速道路建設に関する特別委員会を終わります。

本日は大変ご苦勞さんでございました。

閉 会 午後1時48分

宇治田原町議会委員会条例第26条の規定によりここに署名する。

新名神高速道路建設に関する特別委員会委員長 垣 内 秋 弘